

# コロナウイルスに感染、拡散しないために、私たちができること

NPO 法人大阪府民環境会議からの発信です。(HP: [www.npo-open.org](http://www.npo-open.org))(e-mail: [office@npo-open.org](mailto:office@npo-open.org))

提案者の木内理事長は、関西教育学会の一員として、自然との共生、自然環境を次世代に教える活動をしています。

☆☆☆エエコトをしましよ☆☆☆

\*子どもと一緒に自然をウオッチする散歩

\*家庭で野菜を育てよう

\*買物は地元で、地産地消を

\*心の感染防止、SNS でデマを拡散しないように

\*心の安全は、感謝の「おおきに」を言葉で伝えよう

～医療・介護関係者、各店舗の販売員、宅配、郵便、新聞配達員、タクシー・公共交通で働く人、

見えないところで社会を支える多くの方、そして身近な人、家族へ～

\*芸術、文化、スポーツを絶やさないために、YouTube などでの発信を拡散しよう

各クラウドファンディングに参加しよう

\*感染は地球規模で防ぐしか方法がない、WHO に寄付しよう。☆☆☆☆☆☆☆☆

**コロナ収束が長引けば・・・社会生活を維持するために、こんなアイデアどうでしょうか。**

**いろんなアイデアをだし、各方面へ発信しませんか。**

新型ウイルスの治療薬など開発までには時間がかかるので、社会に出るシステムも最低限必要ではないか。

そのためには、検査精度が70%でも、検査体制を早急に。そして、検査結果「陰性」の証明書の発行。

飲食店の午後8時閉店は、帰路の時間帯の乗り物に集中する可能性があり、定休日の分散を。

**緊急事態が解除になっても、予断は許さない!**

以降も3密を避ける方法として、

必要な外出時は原則として、生まれた年(西暦)の末数字(例:1967年生まれは7)の奇数日、偶数は偶数日。

(PRは行政の役割、決めるのは個々人の責任)

各市町村で、地域別に曜日を決めて推奨するなど、地域ルールづくりを市民の意見を聞いて。

市民を分断するような社会の歪みがすでに出始めています。

職を失った=収入がない→貧困問題の増大は社会不安につながり、自死、犯罪などの増加。

家庭内生活が長引き、家庭内暴力(DV)の増加など、他者とのコミュニケーション不足で引き起こされる。

根深い社会問題にならないように、出来ることはなにか。

∞人と人が支え合う所として、子ども食堂の早期復活(短時間で)。

∞子どもの知的好奇心の場である図書館の再開の一步、貸出しは児童書から。

読み聞かせも一定ルールで(3密避ける)。順次、一人当たり滞在時間を決める等で再開。

∞コミュニケーションの場である公共施設の再開におけたルール作りを市民から提案し、運営協力ボランティアの募集も行う。

街の障がい者作業所のパンなど食品は製造販売中の所が多いです。

ほぼエコ café&Gallery NAZ(ナーズ)とは、環境や地域社会を良くしたいと思っている人が、この場所でコーヒーを飲みながら、ちょっとアイデアと勇気をだして発信する居場所です。定休日は水・日・祝。営業時間は11時～17時(コロナ事情により短縮) 但し、5月6日まで休業中。**会の運営資金ピンチ!カンパも随時受付中です!**